

空き店舗を活用して文化・芸術サークルの活動を支援し、来街者増につながる。

門別町商工会

機関名	門別町商工会			
所在地	北海道沙流郡門別町字本町 188-1			
電話番号	0 1 4 - 5 6 2 - 6 3 0 1			
地域概要	(1)管内人口	13 千人	(2)管内商店街数	4 商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	商店街	(2)会員数	35 商店
	(3)空き店舗率	26%	(4)大型店空き店舗数	0
	大町振興会			
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成 16 年度 コミュニティ施設活用事業（高齢者等交流施設）

- ・交流施設「もんちゃんプラザ」の設置
- ・文化、サークル団体の活動支援

総事業費 3,780 千円

【事業実施内容】

1. 背景

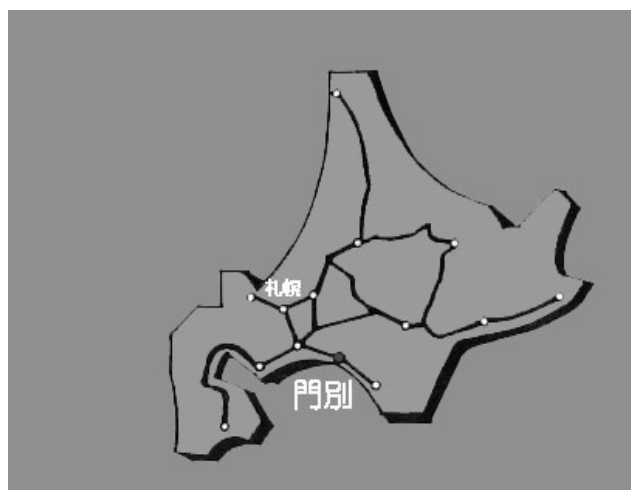
北海道沙流郡門別町は、日高路の玄関口であり、苫小牧市まで車で 1 時間、札幌まで 2 時間の距離に位置する。

総面積は 428.73 k m²（太平洋沿岸 23km、沿岸から北東に向い 44km）で、地目別に見ると総面積の 61.1% が山林、畑が 12.3%、牧場が 8.1% である。

「優駿の里」としてサラブレットの生産、育成が行われ、また、富川駒丘の門別競馬場では毎年ホッカイドウ競馬が開催される。

人口は約 1 万 3 千人で、昭和 35 年の 1 万 8 千人をピークに減少が続いている。こうした人口減少や購買の町外流出等により、中心街である門別町富川周辺に空き店舗が目立ってきている。

そこで門別町商工会を中心に、空き店舗を活用して趣味や憩いの場の提供、各種情報の発信を行い、商店街の活性化に取り組んだ。



門別町の位置（門別町商工会 HP より）

2. 事業内容

3年前まで水産加工商品の販売店であった木造2階建ての空き店舗の1階部分を活用して、無料休憩所やレンタルルームを設置したコミュニティ施設「もんちゃんプラザ」を開設した。憩いの場や、文化・芸術サークル団体の活動の場を提供することで、コミュニティの形成および賑わいの創出を図ることとした。

(1) コミュニティ施設「もんちゃんプラザ」の概要

- ・平成16年10月14日オープン。休館日は特になし。
- ・開館時間 10:00～17:00 *希望があれば21:00まで延長可能。
- ・木造2階建ての1階部分の面積約120㎡。(約50㎡のカウンターや円卓を配した休憩所部分と、約20㎡のレンタルルーム)

①高齢者等の無料休憩所

高齢者を中心に買い物途中の来街者など誰もが利用できる。面積約50㎡で、カウンターや円卓を配した。

壁面には、登録している文化・芸術サークル団体や個人が作成した作品を展示し、文化や情報の発信を行った。

②無料レンタルルーム

絵手紙やハンドクラフト、編み物、木彫などに取り組むサークル団体等に活動の場を提供した。利用希望団体は、事前に登録さえすれば、空いている時にいつでも利用できる。

また、ボランティア団体「たけのこの会」の協力による「高齢者デイサービス」も月1回実施した。

「もんちゃんプラザ」の利用実績

(平成16年10月14日～平成17年3月末)

(単位：人)

年月	一般入館者	サークル関係者	合計
H16.10	190	101	291
11	267	124	391
12	185	140	325
H17.01	171	52	223
02	236	128	364
03	237	79	316
合計	1,286	624	1,910

【 効 果 】

1. 来街者の行動

町内のサークル団体の作品展示により、多くの作品見学の人や関係者が足を運ぶため、来街者が増加した。

また、施設内でコーヒー等の飲み物が飲めることから、来館者が長時間滞在することも多くなった。

2. 福祉施設としても認知

ボランティア団体「たけのこの会」による「デイサービス」に施設を提供したことで、団体の存在を町民にアピールできただけでなく、施設にとっても認知度が高まり大きな収穫となった。今後も積極的に協力していきたい。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 事業実施のノウハウ

事業実施5ヶ月半の間に延べ1,910人の利用があったが、これら来館者に商店の利用を促すことができず、商店街の活性化に活用しきれていない。現在、個店への波及方法を模索中である。

2. 事業費の確保

最低限の施設の維持管理費が年間約100万円必要であり、また一層の有効活用を図るためのPR費用も必要である。今後、利用サークル団体へ負担金を課したり、商店街と連携を図るなど、資金の捻出策を検討しなければならない。

3. 人的体制

施設の管理を2名のボランティアに交代でお願いしているが、あくまでボランティアであるので不測の際に代替りの人員を確保することが困難な状況にある。

また、商店街関係者が利用者を店に呼び込む方法が見つかっていないため、事業に対する関心度が非常に低い。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

事業実施に際し、事前に“この事業は誰のために実施するのか”を明確にする必要を感じる。事業実施後では、直接的なメリットのある人以外は関心が薄くなってしまう。

【 関 連 U R L 】

門別町商工会 <http://www11.ocn.ne.jp/~monbetsu/>